

# 積小為大 (せきしょうだい)

～一日一日を大切に、積み重ねていく一年にしよう～

## 2学期がスタートしました！

9月1日(水)から2学期がスタートしました。学年目標でもある「積小為大」には「小さなことを積み重ねて、大きなことを為す」という意味があります。みなさんは1学期をどのように過ごしましたか。もう一度、1学期の学校生活を振り返ってみて、2学期を有意義なものにしていきましょう。

## 巨大な電子黒板で全校道徳を行いました

2学期から縦幅が黒板と同じぐらい(75インチ)の巨大な電子黒板が導入されました。写真は9月3日(金)の1時間目に行った全校道徳の様子です。各クラスをMeetというテレビ会議でつなぎ、体育祭に向けて大切にしたい考え方や視点を全校で深めていきました。1年生からは「自分と相手の思いを共有していくことが大切」や「相手の気持ちをまず聞いてみること」など、集団生活を送る上で大切な意見が出ました。残り少ない体育祭の練習を充実したものにできるように一日一日を大切にしていきたいと思います。

1年1組の様子



1年2組の様子



1年3組の様子



## 体育祭の練習に熱が入っています！

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年の体育祭が無観客で行われることになりました。生徒のみなさんは、どのような思いで練習に取り組んでいるのでしょうか。3密を避けるなどの感染防止対策を意識した練習を行うなど、色々なところで気をつけなければいけません。



学年練習の中で、曾根先生が「3年生には最後の体育祭なんだから、その気持ちに答えられるように1年生が頑張らないといけない」と言われました。どんな状況でも一人一人が毎回の練習を大切に、真剣に取り組むことで、体育祭が充実したものになります。2年後、自分達が3年生になったとき、熊野東中学校の体育祭の伝統を引き継げるように、毎日を充実したものにしていきたいと思います。



東中ソーランの練習風景